

科目名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
ドイツ語: German		4MESC/B	2	100分×30回	選択	講義・通年	○
教員名	高橋正和: TAKAHASHI Masakazu						
授業概要	ドイツは科学技術、哲学だけでなく、音楽、文学などでも豊かな文化を作り出してきた。ドイツ語を知ることで、その文化にじかに触れることができるようになる。英語の知識を使えば、ドイツ語はその母親のようなものだから、1年間の授業で何とかそのアウトラインまで理解できるようになる。ドイツ語の基礎を学んで、広くて奥の深いドイツの世界を楽しみましょう。						
到達目標				評価方法			
(1)文章が読めるようになること。 (2)文法の基礎を理解できること。 (3)「読む・書く・話す・書く」能力を育てること。 ドイツ語検定4級も視野に入れつつ、ドイツ語とドイツ文化の総合的な理解を目指す。				定期考査70%、小テスト15%、自学自習レポート15%として、総合評価する。			
学習・教育目標		(G)②		JABEE基準1(1)		(f)	
授 業 計 画	回	項目	内 容	回	項目	内 容	
	第1	はじめに	オリエンテーション、身近なドイツ語・発音	第16	演習	前期までの学習内容の確認演習	
	第2	発音練習	単語を読もう	第17	Lektion7	zu不定詞、分離動詞について説明する。	
	第3	Lektion1	動詞の現在人称変化と語順について説明する	第18	つづき	話法の助動詞について説明する。	
	第4	つづき	定動詞の位置(1)(2)(3)について説明する。	第19	Lektion8	過去形について説明する。	
	第5	Lektion2	名詞の性と格変化について解説する。	第20	つづき	現時完了形について説明する。	
	第6		重要な動詞(sein/haben/werden)について説明する。	第21	つづき	受動態について説明する。	
	第7	中間まとめ	ここまでの基本事項の確認のための試験を行う。	第22	つづき	この課の確認演習	
	第8	Lektion3	不規則動詞の変化について説明する。	第23	中間まとめ	ここまでの基本事項の確認のための試験を行う。	
	第9	つづき	名詞の複数形と3格について説明する。	第24	Lektion9	形容詞の格変化について説明する。	
	第10	Lektion4	前置詞について説明する。	第25	つづき	確認演習	
	第11	つづき	副文について説明する。	第26	つづき	比較級と最上級	
	第12	Lektion5	人称代名詞の3・4格について説明する。	第27	Lektion10	関係代名詞について説明する。	
	第13	つづき	再帰代名詞・再帰動詞、2格名詞について説明する。	第28	つづき	確認演習と命令文について説明する。	
	第14	Lektion6	冠詞類について説明する。	第29	Lektion11	接続法	
第15	まとめ	前期のまとめと復習	第30	総合演習	これまでのまとめ		
自学自習の内容	レポート課題を課す。						
関連科目							
教科書	『ドイツ語の時間』(話すための文法・改訂版)清野智明、朝日出版社						
参考書	辞書『ドイツ語の学習辞典』根本道也編著、同学社						
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考							